

2017年度事業活動報告書

(2017年4月1日～2018年3月31日)

特定非営利活動法人 iCare ほっかいどう

1、特定非営利活動に係る事業

(1) 意思伝達装置に係る支援事業

- ① 患者支援としては札幌市内 79 名、札幌市以外 36 名の患者やご家族からの相談を受けて支援させていただきました。
- ② 日本財団の助成により年度末の活動報告会を実施し、活動報告会報告書を作成しました。活動報告会では東京都立神経病院神経内科医の清水俊夫先生から「ALS における栄養障害と栄養療法」という革新的な情報を得て、砂川市立病院神経内科医の山内理香先生からは「今いる場所で、今あるもので。そして、今いる人で。絆を大切に頑張ろう」と背中を強く押されました。参加者は 70 名を超えました。
- ③ 現在 4 つの大学等の作業療法学科の授業 (AAC 等) で意思伝達機器に関する講義を担当しています。また学生の実習を受け入れて、スイッチ作成や患者さん訪問などを行い、道内のコミュニケーション支援に関する現状を学んでいただいています。
- ④ 道内の病院、保健所などから要請を受けて研修会を実施しました。また ALS 協会など患者会との連携や養護学校からの依頼を受けて、機器展示やスイッチ作成の勉強会も実施しました。
- ⑤ 北海道日本ハムファイターズグリーン隊から寄付をいただき、活動を支えていただきました。心から感謝しております。3 年間ありがとうございました。
- ⑥ 三角山放送局で毎月第 4 土曜日に放送されている「ALS のたわごと」(メインパーソナリティ: ALS 患者米沢和也、協力: iCare ほっかいどう) がまる 3 年を迎え、「北海道コミュニティ大賞」を受賞しました。リスナーは全国に広がっています。

(2) 放課後デイサービス事業

「放課後デイばおぼぶ」を開設して 2 年が経過しました。日本財団から福祉車両キャラバンを助成いただき、ほぼ完全送迎ができるようになり、それとともに利用児も増えてきました。登録児童は 16 名で、真駒内養護学校、豊成養護学校、北翔養護学校、手稲養護学校の子どもたちです。スイッチを使ったおもちゃ遊びを通して、活動の柱としている「コミュニケーション」を実現したいと願っています。

(3) 情報収集、情報提供及び調査研究事業

該当なし

2、その他の事業

該当なし